

さとう知一

44歳

ともかず

全国組織「学校トイレの洋式化を推進する地方議員ネットワーク」メンバーとして、公衆トイレの洋式化を強力に推進しています。

県内では、多くの高校において、施設の老朽化が深刻な問題となっています。特にトイレ設備においては、問題がある個所が多く見受けられます。「和式」が主流となっている学校トイレの洋式化を求める声は多くあります。

文部科学省に設置された学校施設整備に関する検討会も「災害時には高齢者や障害者等、要援護者が使用することを想定した公衆トイレは洋式が望ましい」としています。

学校トイレの洋式化を推進する

学校トイレの洋式化を推進する議員ネットワークでは、大きく3つの理由から、洋式化を強力に進めています。

- 1 子どもたちが学校でトイレを我慢しないで明るく楽しく健康的・衛生的に学校生活をおくれ、成績もアップする。
- 2 もしもの災害時に身近な避難所となる地域の学校トイレが和式だけだと高齢者・障がい者がつらい。
- 3 和式よりも圧倒的に節水で環境にやさしく、市民の税金で支払う学校水道料金が約1/3も節水できる。



佐藤知一は、全国組織「学校トイレの洋式化を推進する地方議員ネットワーク」の中心メンバーとして、学校トイレ洋式化を強力に推進しています。



ご協力よろしく
お願いいたします。

厚木市民の皆さま (神奈川県政についてアンケートのご依頼)

日ごろより御理解と御協力を頂き、誠にありがとうございます。「全員野球」をモットーに市民・県民の方々のお知恵とお力を頂きながら、毎日の政治活動を行なわせて頂いております。アンケートを実施し、議会一般質問をはじめ、政策として皆様の声を政策に活かす活動をして参りました。今回は県政についてのアンケートです。

お手数ですが、右記アンケートご記入のうえ、FAX(もしくは郵便・電子メール)にて、ご返信頂ければ幸いです。

頂戴致しましたご提案・ご意見につきましては、責任を持ちまして、現場に伝え、今後の県政運営の参考とさせて頂くよう働きかけてまいります。佐藤知一の議会活動の際にも皆様方からの声として、お伝えさせて頂くつもりです。(もちろん、皆様方のお名前につきましては、一切の公表は致しません。)

今後ともご支援いただけますよう、宜しくお願いいたします。



皆様の声を
お聞かせください。

選択肢のあるものは、番号に「○」をつけて下さい。

- Q1** 現在、「神奈川県」が良く取り組んでいると思う項目はどれですか。(複数回答は2つまで可。)
- 1、治安対策
 - 2、行財政改革
 - 3、環境対策
 - 4、震災対策
 - 5、交通渋滞の緩和策
 - 6、教育政策
 - 7、街づくり・地域活性化
 - 8、その他 ()
- Q2** 「神奈川県」の行財政改革について今後、特に力を入れて進めてほしい項目は何ですか。(複数回答は2つまで可。)
- 1、県政に関する情報提供・県民ニーズの把握
 - 2、県民の参画を得て、県民とともにすすめる県政 (パートナーシップによる県政)
 - 3、行政評価の実施・活用
 - 4、外郭団体の見直し
 - 5、職員数の削減
 - 6、業務の民間委託や民営化
 - 7、県庁・庁内改革の推進
 - 8、職員の意識改革、資質の向上
 - 9、接遇やマナーの向上など、県民の視点に立った改善
 - 10、その他 ()
- Q3** 差し支えない場合は、お名前・ご連絡先をお記してください。
- お名前・
ご連絡先
- Q4** その他、ご意見などございましたら、お書きください。たりない場合は、別の用紙をご利用ください。

コチラに送信ください FAX.046-221-5544

郵送 / 厚木市寿町1-2-3-101 民主党 さとう知一事務所宛
電子メール / sfc310@hotmail.com

さとう知一 検索 satotomokazu.wordpress.com

※ブログは毎日更新中! 活動報告を毎日コツコツ公開し既に13年目。「継続は力なり」が信条。

ご協力ありがとうございました。皆様の声は「神奈川県政」に反映させて頂きます。

タウンニュース

厚木版 掲載 県議員就任以来、隔週(2週間に一度ずつ)でタウンニュースへの掲載を継続しています。

県議会民主党かながわクラブ議員団 神奈川県議会議員 さとう知一

略歴 厚木生まれ厚木育ち。44歳。厚木幼・厚木小・厚木中・日大藤沢高校・慶応義塾大学(総合政策学部)・早稲田大学大学院(国際関係学修士)修了。修士論文は「厚木の環境と農業政策」。大学と大学院の学費は全て、慶応義塾奨学金ほか3つの奨学金により、自力調達し卒業。



活動報告No.139

老後を守る仕組みを創る

民主党県議団副団長 さとう知一

無料低額診療

生活に余裕がなく、医療費の支払いが困難な方々も受診できる制度(国の無料低額診療制度)があります。

健康保険料の納付が困難で支払いが滞り、健康保険証を持たない方や短期保険証、資格証明書が発行されている方も「病气やケガ」でお困りの際は、無料低額診療施設へ連絡し、相談員への相談をお奨めします。

相談員は守秘義務があり情報に関係のない第三者に漏らす事はしません。当該施設に直接ご連絡下さい。

ご不明な点は、佐藤知一迄お気軽にご連絡下さい。

超高齢社会へ

超高齢社会を迎えた日本はこの先、生産年齢人口の激減が予想されています。

地域の人口も減り「働き手いなくなる」↓「景気悪化」↓「働き口なくなる」↓「税収減る」という「負のスパイラル」が懸念されています。

世代交代促進

県内でも世代交代が進む地域もありますが、地域によっては、50代以下の中堅世代すら存在しない地区も多く確認されています。

「派手さ」は、無くとも確実に再生の回路を拓く道を模索・研究しています。

女性活躍推進

ここで必要となるのが、女性や若者達の力です。私は女性や若者が社会で働きやすくするための土壌づくりを推進しています。

女性活躍推進

IMFは、世界銀行総会(東京)で「日本の社会進出促進」が「女性の社会進出促進」が欠かせない」との公式見解を発表しました。

女性労働参加率の上昇を目指すための施策展開を着実に実施し成果につなげます。

黒岩知事と連携を図り、私も県議団の副団長として対策を示しつつ、課題克服に向けて取り組みます。

活動報告No.138

試される実現力

民主党県議団副団長 さとう知一

重量級委員会

過日報道の通り、県議会で所属する民主党県議団の副団長に再任しました。

常任委員会は「総務政策、特別委員会は「ヘルスケア、ニューフロンティア政策」

広報機能充実

県議会で「広報機能の充実」を定めます。課題の指摘や要望のみならず、対策を示しつつ、政策課題の解決

副団長に再任

5月15日、本会議初日の



日米青年政治指導者交流 英語で接撃(厚木基地)

今週は水道週間(本厚木駅北口) 神奈川県議会議員 さとう知一 県議会民主党県議団・副団長、慶応SFC研究所上席所員、消防団員 厚木市寿町1-2-3-101 (電話:070-6407-3910)

活動報告No.137

会派副団長に再任

民主党県議団副団長 さとう知一

消滅自治体

日本創成会議(増田寛也座長)が社会保障人口問題研究所の将来推計データを基に試算した所、消滅可能性都市は、全国自治体の約半数(896市区町村)に

副団長に再任

5月15日、本会議初日の

新世代の責任

就職や出産を希望しても低所得、生活不安定のためにあきらめざるを得ない状況は問題です。改善に向けた取組が早急に必要です。仕事を積極的に進め、失敗を恐れず、政策実現を第一に副団長として厚木の県政課題解決に努めます。



子育てと介護は理屈じゃない

神奈川県議会議員 さとう知一 県議会民主党県議団・副団長、慶応SFC研究所上席所員、消防団員 厚木市寿町1-2-3-101 (電話:070-6407-3910)